

# 21世紀への都市づくりを 市民とともに

## —市制施行40周年にあたって—



大館市長 小畑 元

大館市制施行四十周年を迎え、市民の皆さんとともに喜びをわかちあいたいと思います。

わが大館市は、昭和二十六年四月一日に市制を施行して以来、関係各方面のご指導ご支援によりまして、ここに満四十年を迎えることができました。これまで四度の大火に見舞われながらも、その復興に追われる困難な財政事情のもとで、黙々と困難に耐え、克服してきた市民の努力によって現在の近代都市大館が築かれてきました。

今年から、第三次総合開発計画が「自然と調和し市民相互の連帯にささえられた理想的な中核都市」を基本理念に、「健康で明るく、うるおいある福祉都市」、「若さと活力に満ちあふれている産業都市」などの五つの都市像を掲げてスタートし、新しい時代を築くための土台づくりに向けて取り組み始めています。

念願の職業訓練短期大学の建設が決まりました。更に、高等教育機関実現に向けた秋田短期大学誘致促進期成同盟会が発足するなど、教育・文化の香り高い都市づくりが実現しつつあります。また、東北縦貫自動車道と樹海ラインをつなぐ小坂インターチェンジが開通し、大館能代空港実現の見通しも明るく、高速交通網の整備が進んでいま

す。同時に、市街地を一周する大館リングロード工事も着々と進展していますので、市の将来は、県北の中心都市、更には北奥羽の拠点都市として一層の発展が期待されています。

しかし、私たちは、かつてなかったほど大きな時代の変革の中に置かれています。円高によって影響を受けた本市基幹産業の鉱業、林業、農業などの経済環境の変化、人口の減少、高齢化、高度情報化、国際化などといった流れの中で、先人たちが経験したものは異なった厳しい試練に直面しています。その困難な試練を乗り越え、元気のてる大館を切り開いていくことが私たちの使命であると確信しています。そうした中で、市制四十周年は、一つの節目として大変重要な意義をもっています。これからの大館は、きたるべき二十一世紀を迎えるまでの十年間の市政運営にかかっていると、言っても過言ではありません。その方向を見誤らずに皆さんとともに歩んでいきたいと思っております。

今日まで市勢進展のためにご尽力いただきました先輩各位、市民の皆さんの熱意とご協力にあらためて深く敬意と謝意を表わすとともに、今後もおお層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

- 43年1月・南中学校校舎完成
- 7月・大館市、比内町、田代町1市2町によるし尿処理場完成
- 8月・鳳凰山火文字焼きを実施
- 10月・御成町2丁目大火（焼失棟数263棟）
- 10月・御成町国道7号バイパス開通
- 10月・身体障害者福祉センター完成
- 市立総合病院改築完成
- 45年10月・市民歌制定
- 46年7月・勤労青少年プール完成
- 8月・公設卸売市場完成
- 47年3月・上水道事業第1期拡張工事完工
- 10月・東中学校新築校舎完成
- 48年3月・国道7号大館バイパス有浦、市役所間開通
- 4月・大館周辺広域市町村圏組合常備消防発足
- 10月・市民の森オープン
- 11月・同和深沢鉱山操業開始
- 十二所公民館完成
- 49年1月・広域消防本部庁舎完成
- 51年4月・南小学校開校
- 10月・第1回「教育の日」開催
- 11月・二井田公民館完成
- 52年4月・松峰町内集団移転完了
- 11月・矢立公民館完成
- 53年1月・三菱松木鉱業所閉山
- 9月・下川沿公民館完成
- 10月・上水道第2次拡張工事完工
- 54年4月・大館広域斎場完成
- 市長に畠山健治郎氏当選
- 7月・長根山野球場オープン
- 10月・広域ごみ処理センター完成
- 上川沿公民館完成
- 11月・国道103号山館バイパス開通
- 55年10月・大館「曲げわっぱ」が国の伝統的工芸品に指定
- 11月・第1回大館市産業祭開催
- 56年3月・保健センター完成
- 9月・環境浄化都市を宣言



改築前の市立総合病院



御成町2丁目大火跡